



問題とゴールを正しく定義するためのシート

問題解決方法を考える前に何が問題でゴールは何かを明確に定義しよう

かんがえてみよう



あなたに（またはチーム内で）起きている問題は？



解決方法を考える前に。問題の中身をくわしく整理しましょう。

その問題について、誰が何に困っていますか？

その問題を解決することが必要な理由は？

（解決しないと何か問題が生じますか？）

その問題について、子ども本人が困っていることは何ですか？

その問題は解決可能な問題ですか？

（問題が完全になくなることは可能ですか？）



上記をふまえて、何が問題で、解決とは何を指すのか、解決のために必要なことは何か、ゴール設定をしましょう。

* 達成可能な現実的なゴールを考え、あなた自身がどうするかも含めて考えましょう。



問題解決方法を考える前に何が問題でゴールは何かを明確に定義しよう

きんざい



あなたに（またはチーム内で）起きている問題は？

A君が他の子に暴力をふるう



せいり

解決方法を考える前に。問題の中身をくわしく整理しましょう。

その問題について、誰が何に困っていますか？

職員がどう対応したいかわからない

他の子の安全が守られない

その問題について、子ども本人が困っていることは何ですか？

暴力をふるうことで他の子と良い関係を築けない

暴力を我慢できない自分に失望する

その問題を解決することが必要な理由は？

（解決しないと何か問題が生じますか？）

A君のための適切な支援ができない・他の子の安全が守られない

A君自身の成長につながらない

その問題は解決可能な問題ですか？

（問題が完全になくなることは可能ですか？）

完全になくなることはすぐには不可能



きくひよう

上記をふまえて、何が問題で、解決とは何を指すのか、解決のために必要なことは何か、ゴール設定をしましょう。

* 達成可能な現実的なゴールを考え、あなた自身がどうするかも含めて考えましょう。

理想はA君の暴力の頻度が減ることだが、すぐには難しい。

まずは、暴力に対する適切な対応方法を職員が知ること、A君に自己コントロール方法について学ばせる・A君に成功体験を

積み重ね、自信を回復させること、他の子の安全確保の方法を考えることがゴール。

- ☑ これは、問題について整理するためのシートです。チームで話し合う時を想定したのですが、一人で考える時にも使えるものです。
- ☑ 私たちが何かの問題に対して問題解決方法を考える際、重要なことは「問題は何か」を正しく定義することです。ここがはっきりしていない中で、解決方法だけを先走って考えてしまいがちです。多くの問題は「問題は何か」が正しく認識されることで8割方解決に向かうことができます。
- ☑ 例にあげたように、起きている問題は「暴力をふるう」ですが、ここでゴールを安易に「暴力をふるわない」と設定してしまうと、解決方法に行き詰まります。解決できない問題に対して解決方法を考えてしまっていることになります。この場合、暴力をなくすることはすぐには不可能であるため、ゴールは「暴力をふるわない」に設定することは望ましいことではありません。
- ☑ また、多くの場合、その問題に対して、困っているのは大人であり、大人が困らないための解決方法を考えてしまいがちですが、これも望ましいことではありません。問題解決は、子どもが困らない状況にすることを最優先になされるべきです。このシートを使って整理することによって、誰が困っているのかが明確になります。
- ☑ 子ども自身が困っていることと解決が必要な理由を明確にし、その上で、問題が解決したと言える状態は何か、そのために必要なことは何かを整理していきましょう。このシートである程度問題が定義されたら「問題行動への対応方法を考える」シートを使って、具体的な対応方法を検討していくと良いでしょう。

[例]うちの子で作ってみた

せんせい

？ あなたに（またはチーム内で）起きている問題は？

小1の息子に登校しふりがあり、朝登校するまでに時間がかかる。



せいり

解決方法を考える前に。問題の中身をくわしく整理しましょう。

その問題について、誰が何に困っていますか？

親が時間休をとって対応しなければいけない。

このまま不登校になるのではないかと親が不安になる。

担任は現状を受け止め、特に問題視していない。

その問題について、子ども本人が困っていることは何ですか？

学校に行きたくないのに無理矢理学校に行かされる。

学校に行きたくない理由にはっきりしたものは無い。

その問題を解決することが必要な理由は？

（解決しないと何か問題が生じますか？）

学校には行っているのに、今のところ解決しなくても問題はない。

親の仕事の都合がつくかどうかだけが問題。

その問題は解決可能な問題ですか？

（問題が完全になくなることは可能ですか？）

何か対応方法を変えたら登校しふりがなくなる、というような

即効性ある解決方法はない。試行錯誤を繰り返すしかない。



せくひよう

上記をふまえて、何が問題で、解決とは何を指すのか、解決のために必要なことは何か、ゴール設定をしましょう。

* 達成可能な現実的なゴールを考え、あなた自身がどうするかも含めて考えましょう。

このように考えると、登校しふりの問題はすぐには解決するものではなく、長期的に取り組んでいく問題。

登校しふりをされて困るのは現時点では親のみ（不安になることと時間休で対応しなければいけないこと）。

現時点でできることは、朝のサポートをする人と時間を確保することで、父母+祖母でシフトを組んで対応すること。

大事なことは「登校しふり」をなくすためにどうするか、というゴール設定を安易にしないための思考の整理ができるかどうか。そもそも「登校しふり」は解決すべき問題なのか、仮に解決すべき問題としたら、そう簡単に解決するのか、困っているのは誰なのかを考えた上で、何を解決すべきなのかを絞り込んでいくことが必要。こうしてみると、登校しふりで困るのは親だけ…それを改めて認識すれば、対応方法の考え方も少し変わってくる。そこに気づかせるのがこのシートの狙い。